

千代田区地球温暖化対策第5次実行計画(事務事業編)(素案)に対する意見概要及び区の考え方

意見概要	区の考え方
基本方針1 エネルギー消費量の削減	
1-1. 区有施設等における省エネ設備等導入の推進	
<p>①全体のエネルギー使用量では無く、各フロアごとに使用エネルギーの可視化を行う、各事業別に使用量を可視化する事を進めるべき。</p> <p>②区有施設等の省エネ設備として、コージェネレーションシステムや高効率設備の導入が効果的であるので、「コージェネレーションシステム等」を文言に追加を希望する。</p>	<p>①区本庁舎の使用エネルギーは全庁で管理しているため、現状ではフロアごと、各事業別の可視化は困難ですが、ご意見として受け止めさせていただき、区有施設の管理運営等の参考にさせていただきます。</p> <p>②コージェネレーションシステムは現在も「区有施設の新築等における環境・温暖化対策ガイドライン」で導入を推奨しておりますが、エネルギーレジリエンスを強化する観点から改定時に含めるよう検討いたします。</p>
1-3. 職員の省エネ行動の推進	
<p>①早朝に区役所2階の電気が点いていた。問題は一職員の問題では無く、単なる削減がお題目になり各職員全体に伝わらない区役所全体の問題だと推察する。</p>	<p>①改めて職員全体で省エネに対する意識を高め、省エネ行動の推進・徹底及び管理システムの工夫によりエネルギー消費量の削減に努めて参ります。</p>
基本方針3 協働による地球温暖化対策の推進	
3-1. 区外との連携によるCO2削減	
<p>①区外との連携をさらに広く進めて欲しい。</p> <p>②基本方針3を「区外との連携によるCO2削減などを進めることによる協働、さらに風の通り道や窓の開閉仕様等区内建築物の在り方を検討し、また、区有地の緑化や既存樹木の保護等による冷房機器稼働時間を削減することで地球温暖化対策を推進する。」と自然利用での温暖化対策を加えた文言に変更すべき。</p>	<p>①地域連携推進にご賛同の意見として受け止め、脱炭素社会の実現に向け他の自治体との連携を広く進めて参ります。</p> <p>②「区有施設の新築等における環境・温暖化対策ガイドライン」改定時の参考にさせていただきます。</p>

意見概要	区の考え方
基本方針4 スマートシティの強化	
4-2. エネルギーレジリエンスの強化	
<p>①区有施設等において、充電・蓄電設備に加えて、太陽光発電設備やコージェネレーションシステム等の自立分散型の発電設備を導入することにより、長期の停電への対応力が大幅に向上することから「発電」の文言を追加すべき。</p>	<p>①エネルギーレジリエンスの強化に「発電」の文言を追加させていただきます。</p>
4-4. スマートシティの強化に向けた取組み	
<p>①区内公園や歩道や交差点付近の情報(温度、CO2濃度)を公開してほしい。区有施設と区全体のCO2排出量を区役所や出張所の区有施設で公開してほしい。</p>	<p>①エネルギー使用量やCO2排出量など情報の見える化は重要なことと認識しており、区有施設と区全体のCO2排出量は区ホームページで公開しております。今後の情報提供の参考にさせていただきます。</p>
その他の意見	
<p>①調整後排出係数の説明がここに書かれて無い点、専門家では無い区民に対する説明責任が感じられない。</p> <p>②「千代田区地球温暖化対策第5次実行計画(事務事業編)」の表題だが、一般の区民には内容が解らない表題になっている。千代田区が行わなくてはならない計画であり、副題に「千代田区が行うべき事」と書くべき。</p> <p>③第2章第4次計画の検証と第3章削減目標の設定は数学的に間違っている部分があるのではないか。(3ヶ所)</p>	<p>①調整後排出係数の説明は後半の資料にございますので、注釈として加えさせていただきます。</p> <p>②本計画は区有施設等、区自らの事務事業における計画となっており、副題には「2030区有施設のゼロカーボンをめざして」とさせていただいております。</p> <p>③ご指摘の部分は数値に間違いはございませんが、分かりやすいように第4次実行計画の2020(令和2)年度時点目標達成状況の表を修正いたしました。</p>

意見概要	区の考え方
区全体の取組みに関する事項【実行計画の対象以外を含むもの】	
<p>①二酸化炭素の量の低下目標が、82%削減とは具体的にどうするかを明示していない事が、区にとって目標の達成を難しくしている。例えば、排出ゴミを8割削減、車の通行量を8割削減規制などの目標の明確化が必要になる。</p> <p>②自治体や企業がCO2削減について、やることはやりつくした現状であるが、事業所等に対して空調機・冷蔵機・冷凍機の出力が5kw以上の製品を対象としたCO2及び消費電力削減製品を導入したらどうか。</p> <p>③カーボン・オフセットは一定の成果は出ると思うが、他力部分も感じられる。先進の欧米では「都市の森」を充実する方向に向かっている。緑被率は緑の面積だが、近年では樹冠量(緑の量)を目的にしている。千代田区も先進的に樹冠量に変える時期ではないか。</p> <p>④CO2削減、地球温暖化対策を言うなら、街路樹を伐採する計画はやめるべきである。緑のまちをめざし、樹木の本数よりも樹冠(緑の日傘)拡大を目指してはどうか。</p> <p>⑤建て替えをやめてリノベーション(改修)推進に切り替えてはどうか。再開発推進でなく、建物を保存したり、改修を優遇したりするような政策を望みたい。にぎわい、活力、活性化を追い求める政策は、見直してほしい。必要なのは修理、修繕の技術である。あるものを生かす技術開発こそ持続可能な開発である。</p>	<p>①区有施設の省エネ、再生可能エネルギーへの切り替え等により、82%の削減を目指します。なお、本計画は区有施設等、区自らの事務事業における計画となっており、区のごみ減量、自動車通行量削減などについては、区のゼロカーボン実現に向けて地域推進計画に基づく取組みの参考とさせていただきます。</p> <p>②本計画は区有施設等、区自らの事務事業における計画となっておりますが、区全体のゼロカーボンに向けた取組みに対するご提案として受け止めさせていただきます。区有施設においても適時、高効率の省エネ設備等への切替えや運用改善を行うことによりエネルギー消費量の削減に努めて参ります。</p> <p>③本計画は区有施設等、区自らの事務事業における計画となっておりますが、今後の都市づくりや緑化施策の推進の参考にさせていただきます。</p> <p>④本計画は区有施設等、区自らの事務事業における計画となっておりますが、今後の都市づくり、ヒートアイランド対策や緑化施策の推進の参考にさせていただきます。</p> <p>⑤本計画は区有施設等、区自らの事務事業における計画となっておりますが、区全体のゼロカーボンに向けた取組みとして都市づくりの参考にさせていただきます。</p>